

ツワブキ '麒麟樹' 画/植田由喜子

ツワブキは中国、日本に原産するキク科の多年草である。我が国太平洋岸では福島以西、日本海側では石川以西の海岸地帯に自生する。初見は純日本紀(延暦十六年 七九七)、園芸書には花壇綱目(延宝九年 一六八一)に園芸品種としての発展は葉変わりを主体とし、モミジバ、チジミバ、シカミバなど斑は白、黄などの色とハケコミ、ホシ、フクリンなど様々である。 亮軒記

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 繁 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

'23 7

名古屋園芸

夏を贈ろう



梅雨明け前は気温、湿度ともにいい時期です。そんな季節には「クルクマ」はいかががでしょう。夏の花が少なくなる季節にピンクや紫、白やグリーン色の花を咲かせます。花弁に見える部分は苞(ほう)と呼ばれ、トーチのような独特の形状をしています。艶やかな姿が涼しげです。ショウガの仲間でもあるため、爽やかな印象も持ち合わせています。



使用花材
(クルクマ、サラセニア、トラノオ、ミニバイン、ニゲラの実など)

梅雨が明け、本格的な夏の到来を感じる季節。夏といえば、やはりヒマワリでしょう。明るく鮮やかな黄色い花が元気を与えてくれる植物です。ヒマワリといっても種類は多種多様。一重咲きや八重咲、カラハリエーションもイエローをはじめ、オレンジ、レッド、ブラウンなど。その日の気分をヒマワリデコレーションを楽しんでみてはいかがでしょう。

小暑

「蝉が鳴き始め、本格的に暑くなる頃。」

* * * * *

蝉の声がにぎやかになる季節。一年を二十四の季節に分け、四季の移り変わりを折り込んだ二十四節気。7月は「小暑」と「大暑」の季節です。季節の移ろいとともに暮らしの中に花のある風景を取り入れてみてはいかがでしょう。



使用花材
(ヒマワリ、アジサイ、カーネーション、トルコキキョウ、アワ)



季節の花便り

二十四節気の花飾り

— 小暑 大暑 —

大暑

「一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。」

information

花蓮、予約販売が始まりました
花蓮展 6/24 (土) ~ 8/20 (日)

毎年、名古屋園芸を囲うように並べられた、大きく咲き誇る花と水をはじきキラキラと輝く葉をもつ花蓮は夏を感じさせてくれる花のひとつです。そんな花蓮の予約販売を、今年も行います。品種は30品種以上。気に入った品種があれば来春、蓮根の状態でお渡しいたします。

一見、難しそうに思えますが、コツさえつかめれば毎年咲かせることができます。予約販売限定で数に限りがありますので、少しでも興味のある方はスタッフにお問い合わせください。



蜀紅蓮



右の前に杉浦出雲守何かし 京師在役の折から見およびて其国を画かせそのことを藤波卿によひもとめ浄たる処なり
以上の文に続き御懸物十二ヶ分十二図が描かれている。



花の博物館 第330回

花扇並びに十二ヶ月御懸花図巻 一巻

編著 藤波季忠 絵師 未詳
作年代 江戸初期か

小笠原左衛門尉亮軒

当図巻は、巻頭に掲載の「花扇を従者に持たせた身分の高そうな女性が、文箱を持って先に立つ図である。図右上の書入れは次の通り
「文月7日朝に近衛公為使被奉
花扇之図 藤波二位季忠郷添詞書」並びに持ち物の説明あり。

花扇之文 藤波正二位季忠郷

いつれの御時よりか 七月七日のあした(朝) 近衛殿より女房のせうそこ(く)を にほひ(荷負)といふ 長はしものに持せてつけたてたまつらる かのほしたのもの きぬをかつき 雨ふらぬにもかさをささせ 高きへいし(弊紙)をはきてまいりぬるすか(が)たのめつ(つ)らしきを吾妻人のもともによりて絵にうつし是のことはりしるせよとせむになものあり 其おこな所をたつ(つ)ぬれともかの西のうちにたに たしかなるいはれにしろものなしいくも、とせをふりぬるまの今にいみしにたためになかりて花あふきのつかひといふとはかりなむ聞まゝをかいつけてせめをふさくもかたはらいいたのわきならず

公益社団法人園芸文化協会 小笠原左衛門尉亮軒前会長 退任記念講演紀聞『江戸の園芸はもしろい』寄附贈呈について

令和4年11月3日に行いました小笠原左衛門尉亮軒前会長の退任記念講演会のすべてを紀聞(記録集)として一冊にまとめました。睦月(福寿草)、如月(梅)など、江戸の人々が花とともに暮らす様子を曆にそって紹介しています。

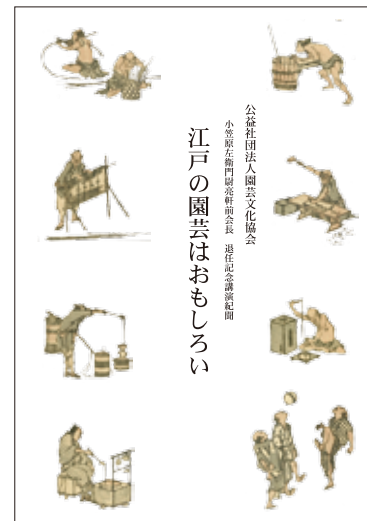
また、テレビ「開運!なんでも鑑定団」に古文書鑑定士としてご出演の増田孝先生による特別講演「園芸文化の手紙から ~後水尾天皇の宸翰消息と小野蘭山の書状~」、両氏による対談「古文書から読み解く日本人の園芸への情熱」も資料を追加して収録。録音から文字起こしたため、臨場感が味わえる一冊となっております。非売品につき、他ではお取り扱いがございません。限定50冊限り。お申込みはお早めに。

* 申込要項

- ・2,000円以上のご寄附で1冊贈呈
- ・お申込みはおひとり様1冊限り
- 在庫がなくなり次第贈呈終了
- ・申込書は名古屋園芸店頭にて配布しております。

* 寄附金のお取り扱いについて

頂戴いたしました寄附金は、『江戸の園芸はもしろい』贈呈のほか、雑花園文庫の運営費として適正かつ有効に使用いたします。



江戸の園芸はもしろい



『春の明ほの』 一説斎園繪-歌川国輝(二代) 天保14年(1843)頃



(上記の右上)

【お申込み・お問合せ先】
一般財団法人雑花園文庫
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13
電話：052 (937) 3391 FAX：052 (931) 8527
メール：soukaen-bunko@nagoyaengei.co.jp